



500 S 500 S

TOPICS

ハートフルカート始動!



もくじ

- 1. 特集
 - ・循環器センター
- 2. 中央部門の紹介・トピックス
 - ・医療安全推進部
 - ・「特定行為研修制度」をご存じですか?
 - ・小児医療センターに「ハートフルカート」が始動 しました!
- 3. 健康・予防の豆知識
 - ・くすり ・臨床検査 ・栄養
 - ・沖縄県への医師等の派遣について
- 4. がん相談支援センター・病院からのお知らせ
 - ・病院ボランティアを募集しています
 - ・オープンホスピタル 2021 開催中止について

基本方針

- ●高度で安全な医療を提供します。
- 患者さんの権利を尊重し、患者さん本位の医療を提供します。
- ●すべての医療人は互いに連携し、チーム医療を推進します。
- 新しい医療を開発するとともに、未来を担う医療人を育成します。
- ●京都府における基幹病院として、地域医療に貢献します。

患者さんの権利

- ●個人として尊重され、平等に良質な医療を受けることができます。
- わかりやすい言葉や方法で、十分な説明を受けることができます。
- 十分な説明を受けた上で、自らの意思で治療方法等を決定する ことができます。
- 医療に関する個人情報やプライバシーは、保護されます。
- 診療録等に記録された自己の診療内容について、情報提供を受けることができます。
- セカンドオピニオン(他の医療機関等の意見)を希望される場合は、紹介を受けることができます。



特集

循環器センター

~2021年3月、4床のCCUが、新しくオープンしました~

CCU とは…?

CCU は Cardiovascular Care Unit (心臓血管疾患集中治療室) の略で、ICU の心臓血管疾患バージョンのことです。

CCUは、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患や心不全や不整脈などの心臓血管疾患、心房中隔欠損症や大動脈弁狭窄症などの構造的心疾患がある患者さんを集中的に管理する専門病床で、特に当院では、多くの経力テーテル的大動脈弁置換術後の患者さんや経皮的僧帽弁接合不全修復術後の患者さんの全身管理を行っています。

病床数は4床で、各ベッドに心電図や血圧、経皮的酸素飽和度などのモニターが完備されています。さらに補助循環(IABPなど)を用いた重症心不全への対応や持続腎代替療法(CRRT)も対応しています。

オープンフロアにすることで、不測の事態にも迅速に対応出来るようにしています。

CCUに入室する患者さんは、呼吸・循環の慎重な管理を必要とする患者さんです。すべての患者さんに安全で質の高い集中治療ケアを行うため、多職種(医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士など)と連携してチーム医療に務めています。

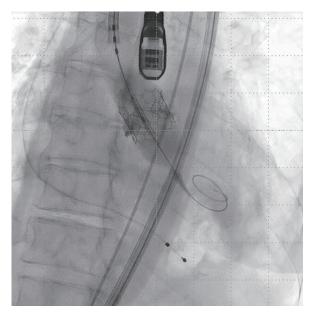
CCUの療養環境は、日常生活とは大きく異なり、患者さんは今までに体験したことのない不安や苦痛を感じられる方もあります。患者さんが安心して治療に専念できるよう、患者さんやご家族の想いに寄り添いながら、身体的・精神的なケアを行っています。



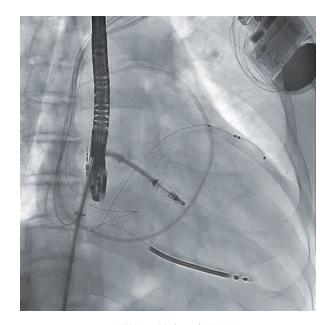
オープン前 CCU の様子



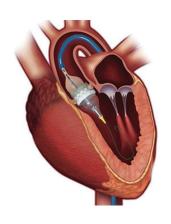
患者さんをケアしています

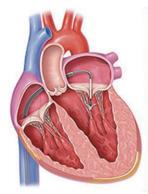


経力テーテル的大動脈弁置換術 (TAVR)



経皮的僧帽弁接合不全修復術 (TMVR)







[カテーテルによる心臓弁膜症治療]

ご高齢の患者さんにも優しい治療として、当院では多くの経力テーテル的大動脈弁置換術(TAVR)やマイトラクリップを用いた経皮的僧帽弁接合不全修復術(TMVR)、ウォッチマンを用いた経皮的左心耳閉鎖術といった最新の低侵襲心臓手術を行っています。

これらの手術はカテーテルを用いることで動脈や静脈を介して心臓にアプローチすることで、従来、外科 的にしか治療が困難であった大動脈弁狭窄症や僧帽弁閉鎖不全症に対してメスを使わず、また心臓を止めず に治療することが可能となりました。

その結果、年齢や併存疾患のためや外科の手術が高リスクの患者さんに対しても治療が可能となり、治療 の幅が広がっており、透析中の患者さんにも対応可能です。

こういった TAVR は年間 150 例程度、TMVR は年間 30 例程度行っており、いずれも京都府内の患者さんが当院に集中しています。京都府北部からの紹介患者さんも多く、毎月拠点病院で心臓弁膜症外来を行っています。また、府外からも多くの紹介患者さんが来られるため手術待機期間が長くなりがちですが、緊急性の高い症例は優先して治療をすることで対応しています。ご高齢の心不全患者さんにはこれらの最新治療が奏功する場合も多いので、今後も積極的に診療体制を充実させていく予定です。

医療安全推進部

2021年度より、医療安全管理部は「医療安全推進部」に名前が変わりました。



世界トップレベルの 医療安全を地域へ

医療安全推進部が中心となって、 患者さんと共に、協力し合って 安全で質の高い医療を推進して いきます。

日々の活動

- 事故防止のためのシステム作り事前に様々な安全対策を計画し、医療事故発生の防止に努めています。
- 医療安全活動の教育・研修や啓発 医療安全に係わる知識やルールを学習する研修会などを設け、職員の医療安全に対する知識や技術 の向上に努めています。
- インフォームド・コンセント点検 患者さんに、わかりやすい説明のもとで、十分に理解されて医療の提供が行われているか、点検を 行い改善に努めています。

患者さんへのお願い



患者の皆さんは医療安全のパートナーです。患者まちがいを防止するために、ご協力ください。

TOPICS



「特定行為研修制度」をご存じですか?

平成27年10月から医師が行っていた医療行為の中で、一部の医療行為を「看護師の診療の補助」として手順書により実践することができるようになりました。これにより、タイムリーかつ迅速に適切な医療の提供につながります。

特定行為には全部で38の行為があり、「実践的な理解力」「思考力」「判断力」「高度かつ専門的な知識と技術」を厚生労働省が指定した特定行為研修指定研修機関で研修を受ける必要があります。

本学は、令和元年に特定行為研修指定研修機関となり、外科術 後病棟管理コースと術中麻酔管理コースを開講しています。

薬剤の調整や医療機器の管理、ドレーン (チューブ類)の抜去、動脈血の採血など23の行為の研修を実施しています。

昨年度は4名が研修修了し、各々の所属施設に戻りました。 現在も5名が研修中です。

皆さま、ご理解とご協力をお願いいたします。







小児医療センターに「ハートフルカート」が始動しました!

2021年6月、小児医療センターにおいて第一回目となる「ハートフルカート」事業を実施し、日用品やトランプなどのおもちゃの入ったプレゼント袋が当院スタッフから、入院中のお子さんとそのご家族に手渡されました。

小児医療センターでは現在、新型コロナウイルス感染症の影響でボランティアの方々による様々な楽しい 行事が開催できておらず、今回の思いがけないサプライズイベントに、センター内では子どもたちの笑顔が あふれました。







「ハートフルカート」とは

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンが、こども達へのおもちゃや、ご家族が入院中に必要な日用品をカートに載せて無償で配布するプログラムです。

この活動は企業や個人からの寄付により支えられています。

健康・予防の豆知識

くすり <mark>@</mark> 豆知識

薬剤部 連載企画 第30回

新型コロナウイルスワクチンについて



今回は、新型コロナウイルスワクチンついて紹介します。

現在、国内では「コミナティー筋注」「COVID-19 ワクチンモデルナ筋注」という 2 種類のメッセンジャー RNA(mRNA)ワクチンが使用されています。

ワクチンの効果ですが、接種を受けた人は受けていない人よりも、 新型コロナウイルスの感染や発症を予防すること、また発症したと しても重症化を防ぐことが分かっています。これらのワクチンの効 果は、2回目のワクチン接種を受けてから2週間目以降に効果が最 大となります。

副反応は免疫反応がしっかりと起こっていることを示す症状でもあり、2回目の接種のあとや比較的若い人に多く現れます。主な症状は、注射部位の痛み、疲労感、筋肉痛、発熱であり、臨床試験においては、ほとんどの場合は症状に応じて解熱鎮痛薬などを飲むことで日常生活に支障をきたしませんでした。

ご自身や、周りの方、そして地域を守るためにも、是非ワクチン 接種について前向きにご検討ください。



左) コミナティー筋注 右) COVID-19 ワクチンモデルナ筋注

臨床検査<u>の</u> 豆知識

臨床検査部 連載企画 第25回

脳波検査





脳波検査は てんかんの診断に有用です。

高齢者てんかんも増加しているので、気になる症状があればかかりつけ医に ご相談ください。



栄養管理部 連載企画 第18回

彩り豊かな食生活を

「脂質=太りそう」など健康に悪いイメージを持っていませんか?

脂質はとりすぎることで体に悪影響を及ぼすこともありますが、主にエネルギー源となり、炭水化物、たんぱく質とともに三大栄養素の一つとして重要な役割を果たしています。

脂質をつくる成分のひとつに脂肪酸があり、脂肪酸には様々な種類があります。

その中でも n-3 系脂肪酸と呼ばれる EPA(イコサペンタエン酸)や DHA(ドコサヘキサエン酸)は、血液中の中性脂肪を下げる働きがあり、心疾患のリスクを下げると言われています。

しかし、EPA や DHA は体内でほとんど作ることができないため、 食事からとる必要があります。

秋には EPA や DHA を豊富に含むさんまやいわし、さばが旬を迎えます。

旬の食材は安価で手に入り、栄養価もさらに高くなるのでおすすめです。

n-3 系脂肪酸(EPA·DHA など) の年齢別目安量(g/日)

	男性	女性
18-29 (歳)	2.0	1.6
30-49 (歳)	2.0	1.6
50-64 (歳)	2.2	1.9
65-74 (歳)	2.2	2.0
75 以上 (歳)	2.1	1.8

日本人の食事摂取基準(2020年版)より



さんま (焼き) 1尾 EPA 1.0g、DHA 1.5g



いわし(煮付け) 2 尾 EPA 0.8g、DHA 1.1g



さばの味噌煮 (缶詰) 1缶 EPA 1.3g、DHA 1.8g



缶詰を活用すること で、手軽に魚を食べ ることができます。

秋に旬を迎える魚の1回あたりのEPA・DHA量

※食事療法を実施しておられる方は医師の指示に従ってください。

沖縄派遣チームが帰還され、現地の様子を報告していただきました!

新型コロナウイルス感染症対応に係る医師等の派遣要請を受け、6月に沖縄県へと派遣されていた 当院の医療チームが全員帰還されました。

慣れない環境ではありながらも、派遣先機関のみなさまと共に、今までの知見をもとに各々奮闘された様子が窺えます。

この経験を糧に、当院でもどんどん活躍してください!







がん相談支援センター

たとえば不安な気持ちを誰かに聞いてほしい時や、これから抗癌剤治療が始ま り脱毛が心配な時、生活の中でなにか使える制度がないか知りたい時など…。 がん専門相談員(看護師、臨床心理士、社会福祉士)がお話を伺い、一緒に考え、 整理するお手伝いや情報提供等をしています。

当院を受診していなくてもご相談できますので、 どうぞお気軽にお越しください。



がんと診断された時から、治療と仕事の両立について相談でき る場所が、がん相談支援センターです。

厚生労働省のガイドラインに基づいて対応させていただきます。 相談員は全員両立支援コーディネーター研修を受講済で、仕事 と治療の両立に関連した資料も各種配架しています。 まずは、お立ち寄りください。



京都府立医科大学附属病院は小児がん拠点病院に指定されています。 小児がんのお子さんやご家族の悩みをお聞きし、社会福祉制度や患 者会・ピアサポートの情報などをご紹介しています。治療後も「こ んなことは誰に相談すればいいんだろう」と悩まれた時には、まず はがん相談支援センターにお電話ください。他院で治療をされた方 や、最近病院に行っていないという方からのご相談も大歓迎です。





相談時間:平日9:00~12:00、13:00~16:00(小児15:00まで)

所:外来診療棟 1 階 ②地域医療連携室内

電話番号:成人:075-251-5283・5284 小児専用ダイヤル: 075-251-5605

相談は無料・予約不要です。お電話でも対面相談でも大丈夫です。※担当医に代わり治療について判断するところではありませんので、ご了承ください。

病院からのお知らせ

	事項	開催日時	内 容	問合せ先
1	肝疾患相談センターのご案内	○毎週火·木曜日 午前 10 時~ 12 時 午後 1 時~ 4 時 ○毎週水曜日 午後 1 時~午後 4 時	肝炎患者さんやそのご家族をはじめ、肝疾患に関する不安や疑問を持つ方からの様々なご相談をお受けしています。 当院消化器内科の担当者が相談に応じ、患者さんやご家族等の皆さんの精神的負担の軽減を図ります。(相談無料)	肝疾患相談センター 電話:075-251-5171

病院ボランティア 募集しています

当院をより潤いのある病院にするため、ボランティア活動の参加をお願いしています。

○初診・再診の診療手続きの案内

○自動再来受付機の操作案内

○診察申込書等の代筆

○院内の施設案内

○移動の介助

<活動日·活動時間>

毎週月曜日~金曜日(土日祝は除く) 午前8時30分~午後5時00分 ※ご希望の曜日・時間帯でご参加いただくことができます!

<お問い合わせ先>

京都府立医科大学附属病院 医療サービス課 医療相談係

TEL: 075-251-5111 (代表)



オープンホスピタル 2021 開催中止について

例年9月~10月頃に、皆様に信頼される医療の提供を目指す当院の取組を広く知っていただくため、「オー プンホスピタル」を開催しておりましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、参加され る皆様と、患者さんの安全面を第一に考慮した結果、中止とさせて頂くこととなりました。楽しみにしてく ださっていた皆様には、昨年に引き続き残念なお知らせになってしまいましたが、当院は引き続き、皆様に信頼される医 療を提供して参りますので、ご理解のほど、何卒よろしくお願い致します。

休 診 日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

初診受付時間 午前8時45分から午前11時まで

※再診受付時間は、各診療科にお問い合わせください。

敷地内は全面禁煙としております。ご理解とご協力をお願いします。

2022年1月 発行予定



京都府立医科大学附属病院

University Hospital Kyoto Prefectural University of Medicine

〒 602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 465

電話:075-251-5111(代表) HP: https://www.h.kpu-m.ac.jp